

★三種の星



(有)サンクラ 三蔵商店 代表取締役
秋田森岳じゅんさい鍋倶楽部副会長

三浦基英

4年半ほど前、家業を継ぐため25年ぶりにこの地に戻った私には、新しくなった町や住民のこともそうですが、経営に必要なノウハウも業務に関する専門知識も何もありませんでした。自分なりに経営計画も立ててみましたが、どれ一つとして実現しているものはありません。むしろ今、私が関わっているものは全く予想もしていなかった事ばかりで、そのほとんどが「たまたま」出会った案件です。これは経営者としては失格かもしれませんが「たまたま」出会った案件がこれほどまで日常の多くの部分を占めているのかを自問しても明確には答えられません。が、一つだけ言えるのであれば、少しでも愉快な未来を描けると感じ

た案件には臆せずどんどん首を突っ込んだせいではないかということですね。もちろん良い事ばかりではありません。失敗したと思うこともあれば、余計なコストやリスク、ストレスも負いますし、社員や家族に負担を強いることもあります。しかし、今は自分の足元だけを見て生きていけない時代ではありません。広い視野を持ち、積極的に外部と交わり、アイデアを出し合わない生き残りていけないのです。一人の人間が考え付くことなどが知れています。同じ志を持つ仲間がたくさんいます。私はこの地で残りの人生を生きる上で、一人でも多くの人と出会い、お互いのアイデアと力を持ち寄ることが必要だと考えました。その結果として「たまたま」な事が繋がっているだけなのかもしれません。ですから、こんな時代、こんな片田舎でも私は将来が楽しみなのです。



香港でのじゅんさい鍋売り込み

11月3日、東京アルカディア市ヶ谷にて「第2回東京みたね会」が開催された。これまで個別で行っていたふるさと会が一つになった、待ちに待った合同ふるさと会であり、議会からも議員14名が出席した。

当日は、総会及び講演会、懇親会が開催され、県内のふるさと会代表、日本スーパーフェザー級チャンピオン三浦隆司選手らも出席し、総勢320名となる規模の大きいものであった。

講演では、読売新聞特別編集委員の橋本五郎氏が、昨今の政権問題やTPPなど、時勢を捉えた内容を分かりやすく解説していた。

その後の懇親会では、久しぶりの再開を喜んだり、お互いの近況を報告しあう姿が見られ、和やかな雰囲気で盛会裏に終了した。

今回感じたことは、東京みたね会と関東琴丘会の早期の統合が更なるふるさと会の発展につながる、また町の活性化にも相乗効果が期待できるのではと感じました。

東京みたね会に出席して

伊藤広子 記



編集後記

町長・町議会議員の同時選挙から8カ月、月日が過ぎるのは本当に早いものです。今、地方自治体は、それぞれが行財政改革を訴え、取り組んでいます。我が三種町も例外ではありません。とは言え、なぜそれが必要で、どのような方向に進んでいくべきなのか、その意識の共有なくして真の改革は進まないのではないのでしょうか。

町当局も私たち議員も、町民の皆様に対して、こうしたことを「わかりやすく」伝えていかなければなりません。そして、この「三種町議会だより」がその一翼を担っていくために、より内容を充実させていきたいと思えます。

2011年が町民の皆様にとつて、三種町にとつて未来への飛躍の年なることを願います。

鈴木一幸 記